

【タイトル】 トマト若手生産者の主体的な研究会で、技術改善が進む

【とき・ところ】 令和5年12月20日
弥富市内

【主体・対象】 JAあいち海部あまトマト部会若手生産者グループ（7名）

【内容】

若手生産者による12月の研究会が開催され、若手ほ場2か所とベテラン生産者のほ場巡回の後、意見交換が活発に行われた。

若手リーダーが中心となり、昨年から主体的に実施されているもので、毎月の巡回の他にも、クラウド上の共有ファイルを利用し、生育状況や定期的な土壌診断データ、目標収量の達成状況や反省点なども見える化して共有されているほか、かん水管理などのテーマで、講師を招いての研究会も実施されている。

多くの具体的な改善にもつながっており、成果としての収量向上が期待されている。農業改良普及課は引き続き活動を支援していく。



ベテラン生産者のほ場視察